

授業科目名： 国際感染症防疫学 (東京農工大担当)		単位数 1 単位	担当教員名： 水谷 哲也、大松勉、古谷哲也
			担当形態： オムニバス
配当年次： 1~4 年次前期	授業形態： 講義科目		開講形態： 奇数年開講
授業のテーマ及び到達目標： 現在、国境を越えて伝播の可能性のある、獣医、産業動物および公衆衛生領域に重要な動物・人獣共通感染症について、伝播・拡散の予防や流行発生時の対処法について、最新の知見を学ぶことを目的とする。			
授業の概要： 東京農工大学農学部附属国際家畜感染症防疫研究教育センター教員および外部講師による、国際感染症防疫についての学際的な講義科目である。			
授業計画： 国境を越えて感染と伝播の可能性がある、産業動物（牛、豚、鶏、山羊、羊など）、野生動物および人獣共通の重要な感染症について、その国内・国際間の伝播の予防と、流行発生時の対処の方法について、関連する諸分野を専門とする教員が講義を行う。（オムニバス方式／全8回）			
① 国際動物感染症（担当：水谷哲也） 口蹄疫等の越境性感染症とその防疫に関する最新の知見について講義を行う。			
② 国際人獣共通感染症（担当：水谷哲也） 国境を越えて伝播する人獣共通感染症について最新の知見について講義を行う。			
③ 野生動物と感染症の関係（担当：大松勉） 国際感染症における野生動物の関わりについて講義を行う。			
④ エキゾチックアニマルと感染症の関係（担当：水谷哲也） 国際感染症におけるエキゾチックアニマルの関わりについて講義を行う。			
⑤ 国際感染症予防における国際協調の役割（担当：水谷哲也） 国際感染症予防における国際機関をはじめとする、国際協調の役割について講義を行う。			
⑥ 節足動物が媒介する国際感染症（担当：古谷哲也） 蚊、マダニを始めとする、節足動物によって媒介される国際感染症について講義を行う。			
⑦ 国際感染症流行時の対応について（担当：水谷哲也） 口蹄疫や鳥インフルエンザ等の流行時における対応について実例に基づき講義を行う。			
⑧ 国際感染症と動物検疫（担当：水谷哲也） 国際感染症の流行を防ぐための動物検疫の役割と課題について講義を行う。			
テキスト：特になし			

参考書・参考資料等：特になし

学生に対する評価：受講状況とレポートなどにより総合的に評価する。